



# おにぎり通信

2011年10月8日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！<sup>わたし まいしゅうどようび よつ やしゅうへん ぎんざ ひびやこうえん とうきょう</sup>私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京  
<sup>えきしゅうへん せいかつ かたがた ほうもん</sup>駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

<sup>じゅうごや きゅうれき がつ にち ちゅうしゅう めいげつ し</sup>十五夜(旧暦8月15日)の中秋の名月はよく知  
<sup>ら</sup>られていますが、<sup>いっ げつ ご じゅうさんや きゅうれき がつ</sup>一カ月後の十三夜(旧暦9月13  
<sup>にち</sup>日)のほうはなじみが<sup>うす</sup>薄いようです。新暦では10  
<sup>がつしよじゆん げじゆん ことし みょうにち か じゅうさんや</sup>月初旬から下旬(今年<sup>は</sup>明日9日<sup>です</sup>)の十三夜は



<sup>のち つき まめめいげつ い じゅうごや うつく つき</sup>「後の月」「豆名月」と言って、十五夜について美しい月とされています。

<sup>じゅうごや ちゅうごく つた ふうしゅう じゅうさんや にほん ふうしゅう じゅうごや</sup>十五夜は中国から伝わった風習ですが、十三夜は日本の風習で、十五夜に  
<sup>つきみ かなら おな ばしよ じゅうさんや つきみ</sup>月見をしたら、必ず同じ場所で十三夜にも月見をするものとされていまし  
<sup>じゅうごや かんしやう かたつきみ い</sup>た。十五夜だけを観賞するのは「片月見」といって忌まれたそうです。

☆ <sup>がつ にち ふくしこうどうほうこく</sup>9月26日 福祉行動報告

<sup>さんか</sup>どなたも参加されませんでした。

<sup>じ かい ふくしこうどう とうきょうえきまる うちきたぐち あさ ぶん</sup>次回の福祉行動：10月11日(火)、東京駅丸の内北口に朝8時30分まで

<sup>しゅうごう とうきょうえきまる うちきたぐち か かんばん した まる うちけいさつしよ</sup>に集合です。(「東京駅丸の内北口」と書いてある看板の下、丸の内警察署

<sup>とうきょうえきこうばんちか まえ ふきん ち</sup>東京駅交番近く『びゅうプラザ前』付近でお待ちください)

<sup>びようき ちりやう きぼう かた からだ やす かた いっしょ ふくしじむしよ</sup>病気やケガの治療を希望される方や、体を休めたい方と一緒に福祉事務所ま

<sup>で、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日に行</sup>

<sup>います。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の</sup>

<sup>ことば ふくしじむしよ つた な た</sup>言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることにより成り立ちます。

もより ふくしじむしょ  
最寄の福祉事務所

ちゅうおうくふくしじむしょ ちゅうおうくつきじ ちゅうおうくやくしよ かい  
中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

ちよだくふくしじむしょ ちよだくくだんみなみ ちよだくやくしよ かい  
千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

せいかつほごほう きょたくほご げんそく きゅうごしせつ こうせいしせつ  
生活保護法には「居宅保護の原則」がうたわれています。救護施設や更生施設などで

しゅうようほご きょたくほご じたく ほご もくてき たっせい  
の收容保護は、居宅保護（自宅やアパート）では保護の目的が達成できない（たとえば

しょうがい きょたく じりつ ばあい  
障害があるため、居宅では自立がむずかしい）場合におこなわれるものとされています。

また、收容保護は本人が希望しないかぎり強制できないとされています。

しかし、現実には、アパートがすぐに確保できないなどの理由によって、施設保護・

しゅうようほご かんこうか やくしよ にゅうしよ しどう じりつしえん  
收容保護がなかば慣行化されています。しかも、役所が入所を指導する「自立支援センタ

ー」などの公的施設は不足しています。そんな矛盾に目をつけた「すきまビジネス」の一

つが、いわゆる無料低額宿泊所です。役所も施設の不足から、「必要悪」として、こうし

しゅくはくしよ しょうかい けいい  
た宿泊所を紹介してきたという経緯があります。

さいきん あさひしんぶん きじ むりょうていがくしゅくはくしよ さいおおて ねん  
最近の朝日新聞の記事によると、無料低額宿泊所ビジネスの最大手では、2005年

には行政の紹介による入所者が全体の50パーセントだったのが、2010年には88パ

ーセントになって、路上で勧誘しなくても空室が埋まる状況になっているそうです。

にほんべんごしれんごうかい ねん がつ にち むりょうていがくしゅくはくしよ  
日本弁護士連合会は2010年6月18日に、無料低額宿泊所について、つぎのよう

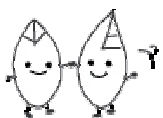
いけんしよ こうせいらどうしょう ていしゅつ せいかつこんきゅうしゃ やね した ねむ ひきか  
な意見書を厚生労働省に提出しています。「生活困窮者が屋根の下で眠ることと引替えに、

たいか みあ れつあく きょじゅうかんきょう りょう じじつじょうきょうせい けっか  
対価に見合わない劣悪な居住環境やサービスの利用を事実上強制する結果となっており、

かんか じんけんしんがい ひ お せいけいこんなんしゃ むりょうまた ていがく りょうきん  
看過しがたい人権侵害を引き起こしている」「生計困難者のために無料又は低額な料金を

しゅくはくしよ りょう じぎょう おこな しせつ せつびおよ うんえい はいし  
宿泊所を利用させる事業を行う施設の設備及び運営についてはただちに廃止されたい」と

もう い かいぜん うご  
申し入れています、改善の動きはみられていません。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：090-4959-0652 岩田